

令和4年9月6日（火）



週間天気予報では、本日が晴れの予報で、運動会総練習を予定している明日から明後日にかけて、台風11号の影響で天気が崩れるという予報でした。前日のうちに職員と打合せを行い、火曜日と水曜日の2・3校時の時間割を交換することにしておりました。

本日は、朝から爽やかな風が吹く秋晴れのもと、運動会の総練習を行いました。校長からは、「暑いし、疲れているかもしれませんが、運動会に向けた活動は今日を入れてあと4日間です。悔いの残らないように、全力で残りの練習を頑張ってください。」と伝え、入場からの一連の流れを通して練習しました。赤白両組頭の選手宣誓には、8月3日の豪雨災害で大きな被害を受けた飯豊町を元気づけたいという思いが込められていて、とてもいい宣誓だと感じました。

3校時の種目練習は、残念ながら両組とも欠席者がいたため行いませんでした。昨年度よりさらに人数が減ることで、一人一人への負荷が増しているようです。全員がリレー選手、応援団を担わなくてはならないのですから無理ありません。しかし、赤白とも誰一人欠かせない仲間とともにこの困難を乗り越え、「よくやった、楽しかった」と自分で自分を認めてあげられるような運動会にしてほしいと願っています。

令和4年9月10日(土)



台風一過の秋晴れの中、3年ぶりに熊野教育長様をはじめ地域のご来賓をお招きし、全校生15名ながら、盛大に運動会を開催することができました。

6年生が2名ということで、必然的に両組頭となった二人にとっては、小学校最後の運動会に架ける思いは、相当強いものがあつたと思います。開会式の選手宣誓の言葉には、

「今年は、新型コロナウイルスに加え、8月3日の豪雨により、飯豊町は大きな被害を受けました。こんなときだからこそ、地域の方々に少しでも元気付けたいと、思いを強くし、練習してきました。今日は、1人1人が、全力を出し切り、赤組も、白組も、力の限り、正々堂々と、元気を与える、最高の運動会にすることを誓います！」

という熱い思いが込められていました。

小規模校の強みを生かし、全員が表現部に所属して3年ぶりの赤白対抗応援合戦を行うことができました。十分な間隔をとる中で、一人一人が声を張り上げて元気に応援する姿、仲間と動きを合わせて組の団結を表現する姿を、運動会で久しぶりに目にすることができました。そして、全校表現活動のクライマックスである、両組が一つになって踊った「手ノ子小ソーラン」の、昨年以上に気合が入った踊りと掛け声に心が震えました。

朝の徒競走練習、体育の時間や中間休みのリレー練習の成果もあり、徒競走は3分の2以上の子どもが自己ベストを更新しました。結果は、最後の全員リレーをはじめ、団体種目の勝負を有利に進めた赤組が、253対232で優勝しました。赤組白組ともに練習の成果を十分に発揮し、手ノ子小の合言葉の「【あ】あきらめない」を体現できた、正しく一人一人が主役の運動会だったと思います。

このように、目標に向かってあきらめずにやり切ろうとする姿こそが、未来への希望の光となり、地域を元気付ける力となるのだと思います。今後とも、いのちを輝かせる子どもたちを育てるために、全力で子どもたちのいのちを守り、支えていこうと改めて心に誓いました。



令和4年9月16日（金）



9月14日（水）の「第27回”めざみの里”音楽祭開催委員会で、昨年度に続きオンラインによる開催とすることが決定しました。これを受けて、本校では、10月5日（水）の祖父母学級研修会での子どもたちの合唱の様子を収録することにしました。

今年度の祖父母学級総会の際に、研修会の内容を、「音楽家の武義和先生によるピアノ弾き語りと講話」とし、祖父母と児童と一緒に鑑賞する会を予定していました。武先生が編曲なされた「ハッピーバースデー」という素敵な曲を、是非研修会の場で児童に歌わせたいと先日担当教諭が相談したところ、茨城県から小国町にたまたま来県されているタイミングで、本日、直接合唱のご指導をいただくことができました。

ご指導の前に、武先生からは、「ハッピーバースデー」を編曲し、世に広めるきっかけとなったお話を子どもたちにしていただきました。この曲はもともと、子どもミュージカルの曲の一つだったそうですが、東京にあるダウン症のお子さんの保護者会がテーマソングにしたいと、高校の教員だった武先生に、生徒を通して相談があったのだそうです。それを武先生が編曲して伴奏しやすくし、30年くらいかけて、幼稚園や小学校、PTAなどに紹介してきたのだそうです。

10月5日（水）の祖父母学級研修会では、子どもたちがお祖父ちゃん・お祖母ちゃんにこの歌を教えた後、子どもたちの合唱に加わって一緒に歌う様子を撮影することを武先生にご提案いただきました。当日も、「ハッピーバースデー」のオリジナルの伴奏を武先生に演奏していただき、お祖父ちゃん・お祖母ちゃんと気持ちよく歌う子どもたちの姿を、動画として町民の皆様へお届けしたいと思います。